

一

川口さんの学級では、家族の一員としてできることを考えるために、家庭での過ごし方について調べました。次は、川口さんのグループが集めた資料をもとにした話し合いの様子の一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

司会 ここからは、川口さんたちが集めた【資料】をもとにして、

「家の中のそうじや整とん」について話し合います。【資料】を見て分かったことや考えたことを発表してください。

川口 平成十六年を見ると、「いつもしている」人が少ないと思います。家の中のそうじや整とんはむずかしいことではないと思います。家族の一員としての自覚をもって、積極的に取り組むべきではないでしょうか。

松山 確かに、平成十六年の「いつもしている」は十五%しかいません。でも、「ときどきしている」を合わせると、六十七%もいます。むしろ、よく取り組んでいるほうだと思えます。

司会 今、二人は、平成十六年の割合わりあいから考えた意見を出してくれましたが、平成十七年の割合からも考えてみてください。

【資料】家の中のそうじや整とんをする小学校6年生の割合

	いつもしている	ときどきしている	あまりしていない	まったくしていない	無回答など
平成16年	15%	52%	24%	9%	0%
平成17年	14%	48%	29%	8%	1%

(国立オリンピック記念青少年総合センター「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」による。)

村田 わたしは、平成十七年の「あまりしていない」と「まったくしていない」に注目しました。この二つを合わせると、三十七%にもなります。しかも、平成十六年よりも増えているので、もっと取り組んだほうがいいと思います。

あなたの発表

ア

～(話し合いが続く)～

一 川口さんの学級では、家族の一員としてできることを考えるために、家庭での過ごし方について調べました。次は、川口さんのグループが集めた資料をもとにした話し合いの様子の一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

【資料】 家の中のそうじや整とんをする小学校6年生の割合

	いつもしている	ときどきしている	あまりしていない	まったくしていない	無回答など
平成16年	15%	52%	24%	9%	0%
平成17年	14%	48%	29%	8%	1%

(国立オリンピック記念青少年総合センター「青少年の自然体験活動等に関する実態調査」による。)

司会 ここからは、川口さんたちが集めた【資料】をもとにして、「家の中のそうじや整とん」について話し合います。【資料】を見て分かったことや考えたことを発表してください。

川口 平成十六年を見ると、「いつもしている」人が少ないと思います。家の中のそうじや整とんはむずかしいことではないと思います。家族の一員としての自覚をもって、積極的に取り組むべきではないでしょうか。

松山 確かに、平成十六年の「いつもしている」は十五%しかいません。でも、「ときどきしている」を合わせると、六十七%もいます。むしろ、よく取り組んでいるほうだと思います。

司会 今、二人は、平成十六年の割合わりあひから考えた意見を出してくれましたが、平成十七年の割合からも考えてみてください。

村田 わたしは、平成十七年の「あまりしていない」と「まったくしていない」に注目しました。この二つを合わせると、三十七%にもなりません。しかも、平成十六年よりも増えているので、もっと取り組んだほうがいいと思います。

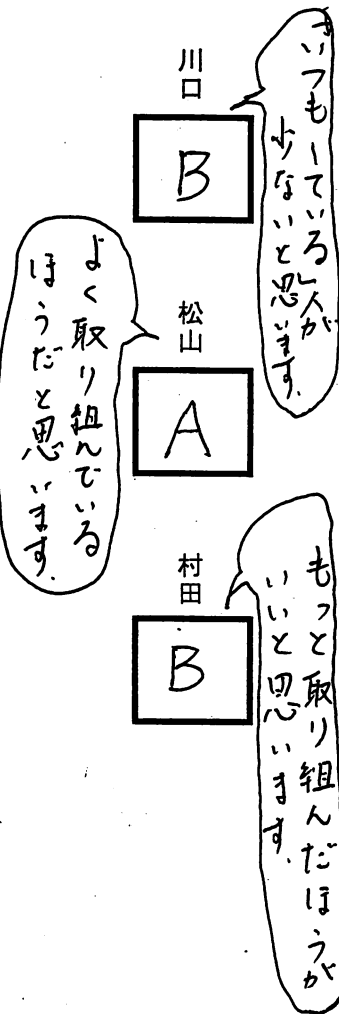
あなたの発表

ア

（話し合いが続く）

一 話し合いで出された意見を次の の中にある二つに分けます。「川口・松山・村田」の三人は、それぞれ A・B のどちらの意見になりますか。 の中に、それぞれ A か B のどちらかふさわしいほうを選んで書きましょう。

A 最近の小学校六年生は、家の中のそうじや整とんによく取り組んでいるという意見
 B 最近の小学校六年生は、家の中のそうじや整とんにあまり取り組んでいないという意見



二 あなたは、 A のところで、前のページの にある A の意見の立場から発表することになりました。あなたならどのような内容を発表しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

【条件】○平成十七年の割合(%)を取り上げること。

○六十字以上八十字以内にまとめて、発表するように書くこと。

(例)

の	の	%	平
だ	十	も	成
か	四	い	十
ら	%	て	七
、	も	、	年
よ	合	約	の
く	わ	半	「
取	せ	分	と
組	る	で	き
ん	と	す	ど
で	、	。	き
い	六	「	し
る	十	い	て
と	二	つ	い
思	%	も	る
い	も	あ	」
ま	あ	り	は
す	り	す	四
	す		十
			ハ

80字 60字

原稿用紙の使い方
 としては X だけど、
 この場合は、字数を数えるためのマスなので、これでいいんだよ。

A の意見の立場で
 あることを心に、
 「よく取り組んでいる」と
 言える根拠を語り
 取ろうよ。

〔参考〕過去の調査における正答率

問題番号	調査の名称(実施学年)	正答率(%)
一	平成21年度 全国学力・学習状況調査(6年)	75.6
二		25.9

〔参考〕出題の趣旨

一	互いの立場や意図を明確にして話し合うことができるかどうかをみる。
---	----------------------------------

〔参考〕解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率(%)	自校の反応率	正答
一	1 川口にB, 松山にA, 村田にBを解答しているもの	75.6		◎
	2 川口にB, 松山にA, 村田にB以外を解答しているもの	4.6		
	3 川口にB, 松山にA以外, 村田にBを解答しているもの	0.9		
	4 川口にB以外, 松山にA, 村田にBを解答しているもの	6.1		
	5 川口にB, 松山にA以外, 村田にB以外を解答しているもの	1.5		
	6 川口にB以外, 松山にA, 村田にB以外を解答しているもの	0.3		
	7 川口にB以外, 松山にA以外, 村田にBを解答しているもの	3.2		
	8 川口にA, 松山にB, 村田にAを解答しているもの	2.6		
	9 上記以外の解答	2.1		
	0 無解答	3.0		
二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ①最近の小学校六年生は, 家の中のそうじや整とんによく取り組んでいると考える立場で書いている。 ②平成十七年の割合(%)を取り上げている。 ③60字以上80字以内で書いている。			
	(正答例) ・平成十七年の「ときどきしている」は四十八%もいて, 約半分です。「いつもしている」の十四%も合わせると, 六十二%もあります。だから, よく取り組んでいると思います。(80字) ・平成十七年を見ると, 「まったくしていない」の八%と「無回答など」の1%以外の九十一%の人が取り組んでいることになります。だから, よく取り組んでいると思います。(79字) ・「いつもしている」と「ときどきしている」を合わせると, 平成十六年は六十七%, 平成十七年は六十二%もいて, 毎年六割以上もいるので, よく取り組んでいると思います。(79字)			
	1 条件①, ②, ③のいずれも満たしているもの	25.9		◎
	2 条件①, ②はいずれも満たしているが, 条件③は満たしていないもの	0.9		
	3 条件①, ③はいずれも満たしているが, 条件②は満たしていないもの	17.8		
	4 条件②, ③はいずれも満たしているが, 条件①は満たしていないもの	17.1		
	5 条件①は満たしているが, 条件②, ③はいずれも満たしていないもの	1.7		
	6 条件②は満たしているが, 条件①, ③はいずれも満たしていないもの	1.0		
	9 上記以外の解答	24.0		
	0 無解答	11.6		

